

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年1月25日 No.28

3・1
ビキニ

土日の条件活かし今世紀最多の代表派遣を



日本原水協は1月23、24の両日、都内で全国担当常任理事会をひらき、2月9、10日にひらかれる第80回全国理事会の準備と3・1ビキニデー成功にむけ、今世紀に入って最多の代表派遣を確認しました。

常任理事会の討論の中から、3・1ビキニデーに向けた特徴的な取り組みを紹介します。

土日の3・1へ 各地で青年のとりくみ広がる

神奈川では、県労連青年部、原爆訴訟支援青年連絡会、民青など3団体共催で2月11日(月・祝)に東京・夢の島の第五福竜丸展示館への見学フィールドワークを予定しています。神奈川県原水協では、これらを力に150人の代表中、70人の青年代表を送ることをめざしています。

愛知では、県原水協がパンフの分かりやすさを知らせて労働組合に普及を訴えるなかで200人を超える代表団を送る目標を立てています。また、29日を含む青年学生の3日間ツアーを組む予定です。土日という日程の条件を最大限に活かし、チラシも活用して代表派遣に取り組んでいます。

茨城では、すでに10人の代表が決まっているうち半分は青年。世界大会参加の青年が「焼津に行ってみよう」と。茨城県原水協では、世界大会に参加した青年に積極的に声をかけています。

3・1 ビキニ パンフ学習すすめ、代表派遣につなげよう

最大の代表送ろうと意思統一 千葉県原水協事務局長・椎葉重盛

千葉県原水協は1月17日、定例の常任理事会を開き、08年3・1ビキニデーに最大の代表を送る意思統一をしました。そのために各団体・労組・地域で1月中に最大の派遣目標を決めること、地域の被爆者の会と相談し、被爆者代表を3・1ビキニデーに送ること、3・1パンフを活用し、地区・支部・班などで無数の学習会を開くこと・全県的なとりくみにするために「1・26千葉県学習会」を大きく成功させることなどを討論、決定しました。

千葉民医連が25人の代表派遣目標を決めたこと、百冊のパンフを市内の各団体に持ち込み代表派遣を要請(船橋原水協) 地元で開催される1・26学習会に沢山の参加者を組織する(千葉市原水協)。すでに3・1に青年を誘っていることなどが出されました。

3・1ビキニデーを成功させるために2月27日に千葉市内にて千葉県代表団会議を計画しています。

北海道原爆訴訟は1月28日に最終弁論を迎えます。2003年4月に安井昇一さん(83歳)、館村民さん(83歳)、柳谷貞一さん(81歳)が集団訴訟として提訴し、現在道内の原告は9人です。北海道原爆訴訟支援連絡会は、一日も早い勝利判決をと札幌地方裁判所に17万6千名以上の署名を提出。北の被爆者も勝つ!全員で勝つ!と26日、勝利判決めざす夕べをエルプラザ大ホールで開催します。

北海道訴訟いよいよ結審